

今年度開催された第60回技能五輪全国大会(厚生労働省、中央職業能力開発協会主催)の「時計修理」職種で、最高賞となる金賞を受賞した長久保優さん(21) =盛岡セイコー工業(株)勤務=にお話を聞きました。



悔しさをバネに頂点へ

長久保優さん

ものづくりが好きなのは小学生のときから。ミサンガ作りや手芸などに夢中になり、手先を使う細かい作業や長時間一つのことをするのが得意でした。

地元で自分が好きなものづくりをしたいという思いで入社し、技能五輪は今回で2度目の出場。前は敢闘賞を受賞しましたが、金賞を目指していたので満足できず、とても悔しい思いが残りました。前回の反省点は、ミスを自覚できていなかったこと。大会では時計の不具合を修正する課題があるため、考えられる不具合を他の社員とお互いに仕込んで修正したり、時計をばらして組み立てたりする練習を繰り返し、できなかったことを書き出して一つずつ改善していきました。今回こそ絶対に金賞を取りたいという気持ち

で、自信を持って大会に臨めるようひたすら練習を重ねました。

大会当日は朝食を食べられないくらい緊張し、作業中も手が震えてしまいましたが、その分落ち着いてやろう、ゆっくり丁寧にやろうという気持ちで臨めました。また、一緒に出場した同僚の佐々木さんとは「絶対できる」と声を掛け合い、気持ちを高め合いました。大会までたくさん苦戦することもありましたが、一緒に練習してきた仲間と先生からの助けがあり、その結果の金賞だと思っています。

23歳以下という制限がある大会に出場でき、金賞を取れたことはとても貴重な経験だったと感じています。練習や大会で学んだ知識や技術を生かし、次のものづくりに繋げていきます。

「グランドセイコー」の組み立てに携わることが私の目標です。そのために技能五輪で金賞を取ることは過程の一つであり、絶対に逃してはいけないという気持ちで毎日練習しています。今回の敢闘賞の悔しさを忘れず、次こそ必ず金賞を取りたいと思います。

佐々木 啓太さん(20) (写真左)



お互いに切磋琢磨し、励まし合いながら大会に臨んだ2人。佐々木さんは敢闘賞を受賞

写真deもりおか

市内で開催されたイベントや出来事をご紹介します。紙面で紹介しきれなかった写真は、市ホームページの取材日記に掲載しています。



取材日記

11/30

世界が認めた「永井の大念仏剣舞」

都南分庁舎には翌日の朝、懸垂幕を掲出しました▶

11月30日、盛岡市の「永井の大念仏剣舞」を含む「風流踊」のユネスコ無形文化遺産への登録を祝し、当日の夜に市役所本庁舎に横断幕を掲出しました。盛岡では初の登録となり、市内では喜びの声が上がっています。



12/16

盛岡のまちを優しい明かりが包み込む



盛岡の新たな冬のイベント「もりおかイルミネーションブライト」の点灯式がメイン会場のもりおか歴史文化館前広場(内丸)で開催されました。イルミネーションは、同広場のほか市内中心部の商店街にも設置され、幻想的な光の空間を楽しむことができます。期間は2月18日(土)までです。

12/3・12/4

盛岡 師走の風物詩「盛岡文士劇」

演劇が盛んな盛岡で長年愛されている盛岡文士劇が盛岡劇場(松尾町)で上演され、地元作家やアナウンサーらが熱演を見せました。盛岡弁で演じる現代物の演目は、「あのなはん〜落語『盗人の仲裁』より〜」、時代物は「一握の砂〜啄木という生き方〜」。2日間のチケットは完売し、終演後の会場は温かい拍手に包まれました。5月には今回で2回目となる東京公演が開催される予定です。



今月号の「もりけんに挑戦」はお休みしました

広報もりおかへのご意見をお待ちしています。アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



編集後記

「未来技術で生活が豊かになる。」遠い先の話ではなくもうすぐのことなのでしょうね。暮らしの中で何がどう変わるのか楽しみです。ついていけるのか少し心配です。(真田)

地球環境に配慮したインキを使用しています。